

福島駅前吾妻通りほこみち社会実験Week さんかくストリート

調査報告書

令和7年2月



福島市

▲目次

1. 概要

-1 概要	3
-2 これまでの取組み	5
-3 コンセプトの設定	12
-4 道路空間演出の考え	16
-5 賑わいづくりの考え	19
-6 広報活動の取組み	24

2. 効果検証

-1 自動車交通への影響の把握	
① 自動車交通量調査及び滞留長調査	27
-2 歩行者交通の把握	
② 歩行者交通量調査	28
-3 環境施設の利用実態の把握	
③ ベンチ利用実態調査	31
-3 来場者の満足度等の把握	
④ 来場者意識調査	32
-4 事業者の意識の把握	
⑤ 沿道事業者意識調査	39
⑥ 出店者満足度調査	42
⑦ 協賛企業意向調査	43
-5 運営者等の意識の把握	
⑧ 企画運営チーム調査	44
⑨ フィールド魅力度調査	45
-6 広報活動の把握	
⑩ SNS等の閲覧状況等	46

3. まとめ

-1 社会実験の効果	50
-2 社会実験の課題	51
-3 継続的な取り組みに向けた進め方	53
-4 体制づくり	55
-5 全体スキーム(案)	56

1. 概要

1-1概要

①実施日時

- ・令和6年10月19日(土)～令和6年10月27日(日) 9日間
※10/18(金)オープニングセレモニー18時30分

- ・時間帯
10/19 (土) 10時～23時
10/20 (日) 10時～18時
10/21～10/24(月～木)10時～21時
10/25,26 (金・土)10時～23時
10/27 (日) 10時～18時

②実施内容

車道及び歩道の道路空間を活用する環境整備及びイベントの実施

③場 所

吾妻通り



④狙い・目的

「# 中心市街地を活性化していきたい」に向けて

駅前からまちなかに伸びる主要な通りである「吾妻通り」を対象に、まちづくりの取り組みの機運を醸成する。

**道路空間を、新たな活動のフィールドへ
(参加型の体験、チャレンジ、憩い)**

吾妻通りほこみち社会実験

(“自ら” 考え、参加し、実行する

企画運営チームによる社会実験)

1-2 これまでの取り組み

市民から「企画運営チーム」を募集し、企画運営チームで企画や計画、社会実験の実施等に取り組みました。

＜参考資料＞企画運営チームの募集

(市長記者会見R6.5.30 資料)

別紙2

吾妻通り **新** ほこみち社会実験

あなたもプロデューサーの一員に！

～企画運営チームのメンバーを募集します～

吾妻通り ほこみち社会実験とは

吾妻通りの車道幅員を狭めて賑わいや憩いの空間を創出し、新しい道路空間の使い方について実験するものです。自動車交通などへの影響等についても検証します。

1. 参加型の体験 2. チャレンジ 3. 憩い

3つの活動の場としてフィールド提供



(ほこみち社会実験のイメージ)



実施期間

令和6年10月19日(土)

～ 10月27日(日)【予定】

<参考資料> 企画運営チームの募集

実施体制

『企画運営チーム』が、市と一緒に沿線事業者等と調整しながら道路空間の新しい使い方を考え、企画します。チームメンバーは、自らもプレイヤーとなりながら実行して、その後の検証等も行います。

これまでの「実行委員会方式」等とは異なる、新たな官民共創の取組みにチャレンジします。



募集

企画運営チームのメンバーとして、

ドキドキ・あくわくしながら
チルする空間を吾妻通りに作りたい！

という「やる気」のある方を募集します。

チル：ゆったり、くつろぐ、まったりする、落ち着く

応募フォーム



応募方法：市HP・SNS等

応募人数：若干名

応募条件：にぎわいづくりの経験をしたい方
まちづくりに思いがある方

募集期間：5月30日(木)～6月21日(金)

▲企画運営チーム メンバー

No.	年代	性別	応募理由
1	30代	女	絵本の読み聞かせや絵本カバーを使ったペーパーバッグづくりのワークショップをしたい。
2	20代	女	駅前の賑やかさがなくなってしまっている今だからこそ、みずほ銀行の代表として福島を盛り上げたい。
3	40代	男	福島で暮らす人・福島を訪れた人も、福島をたのしめる空間をつくってみたい。
	30代	女	
4	50代	男	昭和を感じられる、賑わいづくりをしたい。
5	—	女	人が来る目的となるような作りこみをしたい。
	—	女	
	—	女	
	—	男	
6	20代	女	商業振興を図りながら多世代が交流できる場の設計に取り組みたい。SNSを活用した広報活動も行いたい。
7	20代	男	「どんな賑わいをつくるのか」を明確にししながら、将来的なまちの発展のために活動したい。
8	60代以上	男	笑顔でつながる人、もの、環境づくりをしたい。
9	20代	男	建築系のキャリア、アート系の体験活動の企画・運営の経験を活かしたい。
10	10代	男	中心街に活気を取り戻すための活動を行いたい。

No.	年代	性別	応募理由
11	20代	女	街歩きをする楽しみを醸成し、人通りの復活の一助を担いたい。
12	30代	女	街中のにぎわい創出に向けて、人が集まる場所を参加者の皆様と協力しながら作りたい。
13	30代	男	自分の住む街で、まちづくりにチャレンジしたい。
No.	年代	性別	属性
14※	21	男	大学生(3年)
15※	20	女	大学生(3年)
16※	24	男	会社員
17※	20	女	大学生(3年)
18※	20	女	大学生(3年)
19※	23	男	大学生(4年)

※こくりナビより応募

▼こくりナビとは



"こくりナビ" 若者と行政、地域をつなぐ = 共創 "Co-creation"

福島市は、多くの「若者」がまちづくりへ参加することで共創のまちづくりをさらに推進していきます。

若者と行政、地域をつなぐ新事業、「こくりナビ」がスタートしました。

参加される皆さんが楽しく、安心して活動できるよう市地域共創課がサポートしていきます！



▼企画運営チームによる会議全8回(内補足的MTG3回)

	日付	内容	参加人数
1	R6. 7. 9	第1回WG (取組みの検討)	16名 (内オンライン3名)
2	7.18	ZOOM会議①	オンライン6名
3	7.22	第2回WG (取組みについてグループワーク)	14名 (内オンライン3名)
4	7.29	ZOOM会議②	オンライン10名
5	8. 1	第3回WG (企画書の立案)	14名 (内オンライン1名)
6	9.11	広報MTG	9名 (内オンライン3名)
7	12.10	効果検証MTG (取組み結果の効果検証)	14名 (内オンライン8名)
8	R7. 1.30	検証報告MTG (これまでの活動のまとめ)	8名 (内オンライン1名)



第1回WG



第2回WG



効果検証MTG



▼企画運営チームによる活動

日付	内容	参加人数
R6. 8. 2	プレイヤー会議 (プレイヤーになる方)	8名 (内オンライン1名)
8. 29	みち活会議「ほこみちどうです会」 (ほこみちプロジェクト事務局による説明会)	9名 (内オンライン1名)
10. 2	ベンチ製作 (ダイユーエイト様協賛)	3名 (会場都合により)
10. 6	吾妻通り美化ビカ活動 (沿道の清掃美化活動)	5名 (オンライン参加なし)

みち活会議



美化活動



ベンチ製作



▼企画運営チームによる取組みの様子



キーワード
憩いとにぎわい
日常から非日常へ

キーワード 共感と参加！

コンセプトは
出てきたアイデアを整理したり
膨らませたりする際の基準点

→今回の企画全体では”共感”と”参加したくなる”
という方針でコンセプトを探ってみるのはどうだろうか？

すでにアセットは沢山ある！
(おいしいパン、フルーツ、足湯、素敵な什器やグラフィック...)

1-3 コンセプトの設定

課題の設定

憩い = 滞留時間

賑わい = マネタイズ
(沿道事業者)

将来イメージ

期待できる通り → このようなイメージ感
イメージに近づけるために

- ・ **SNS活用** → 認知してもらう (話題となるものを提供し拡散してもらう)
- ・ **にぎわってる感の演出** → “感”がつくことから、具体的な行動を定義するのではなく、何かが起こり、興味・関心を持ってもらう



何かに “期待”できるような通りに！



ターゲット

- ・ 高校生など若者を中心とした吾妻通りを利用・親しんでいる利用者
- ・ 吾妻通りに気軽に立ち寄る機会が少ない 子育て中の親子

狙い

日常的に普段から利用している方々の居心地を良くすることで、通りに愛着を持ってもらう。

そして、非日常的にちょっとしたワクワクのイベント等を通して、普段立ち寄る機会が少ない方々の寄り道を増やし、他の通りと連動し吾妻通りから中心市街地全体の「憩いと賑わい」を創出する。

シンプルにできることで。

“吾妻通りの今あるものに、ささやかな要素が加わる”



その結果、“普段通る人の考えや行動に変化が起きる。”

あわよくば普段街の方に出てこない人も
足を運んでくれればベスト。

企画運営チーム K氏提案より



コンセプト



福島駅前ほこみち社会実験 WEEK



愛称

さんかくストリート

SANKAKU STREET

ダブルミーニング

コンセプト

さんかく広場とそこに面する吾妻通りがいつもとちょっと違う空間になります。

さんかくストリートは社会実験をスタートに、“市民”と“行政”そして“街”、

みんなが参画できるみちづくりのプロジェクトです。

ワクワクしたり、のんびりできたり、みんなのいいなと思える風景を吾妻通りにつくってみましょう。

あなたなら、どんなさんかくストリートを想像しますか？

SANKAKU
STREET ▲
さんかくストリート

当事業のロゴタイプ（愛称）

FUKUSHIMA



HOKOMICHI

FUKUSHIMA



HOKOMICHI

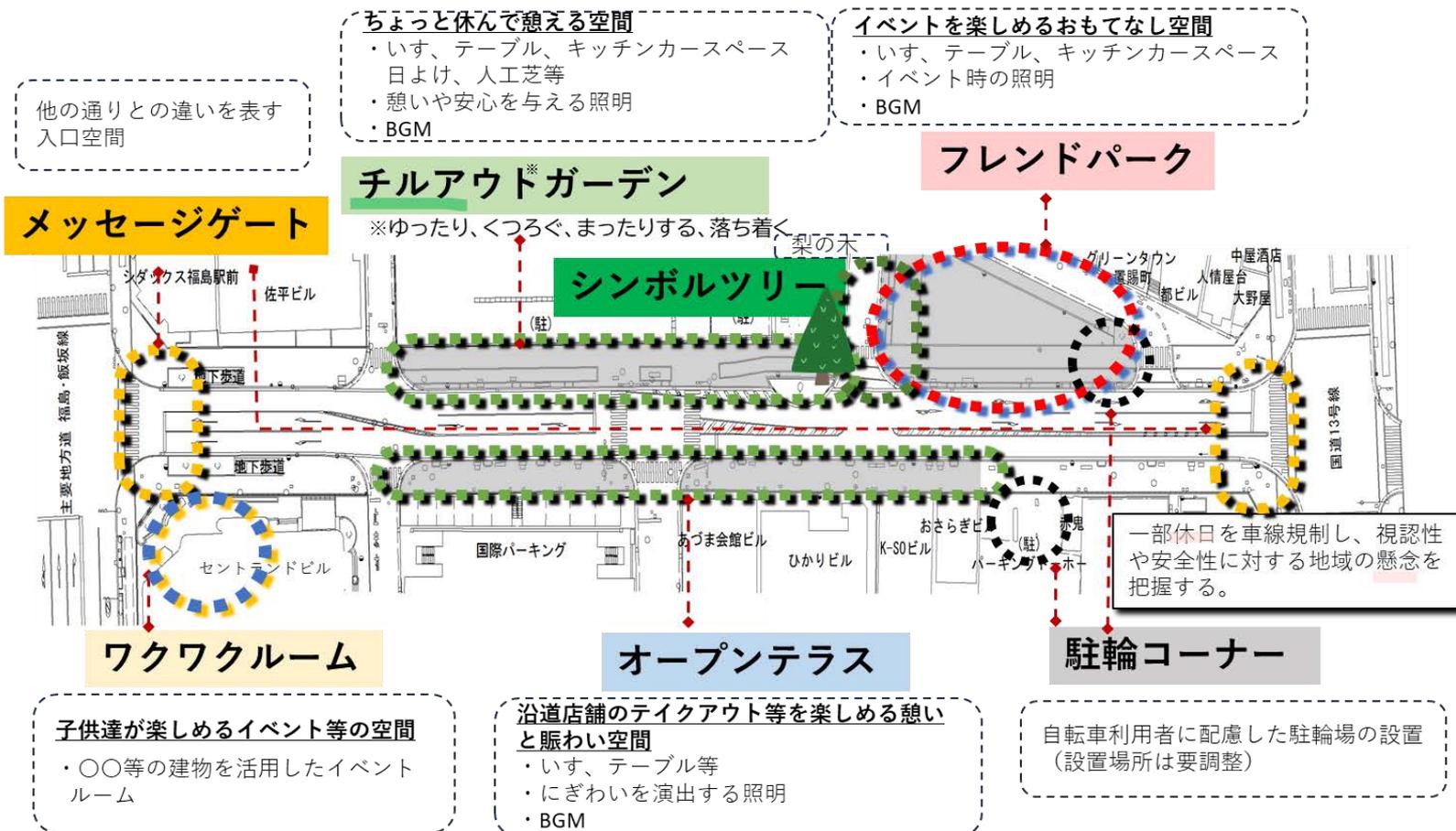


ほこみちプロジェクトで提供しているロゴ

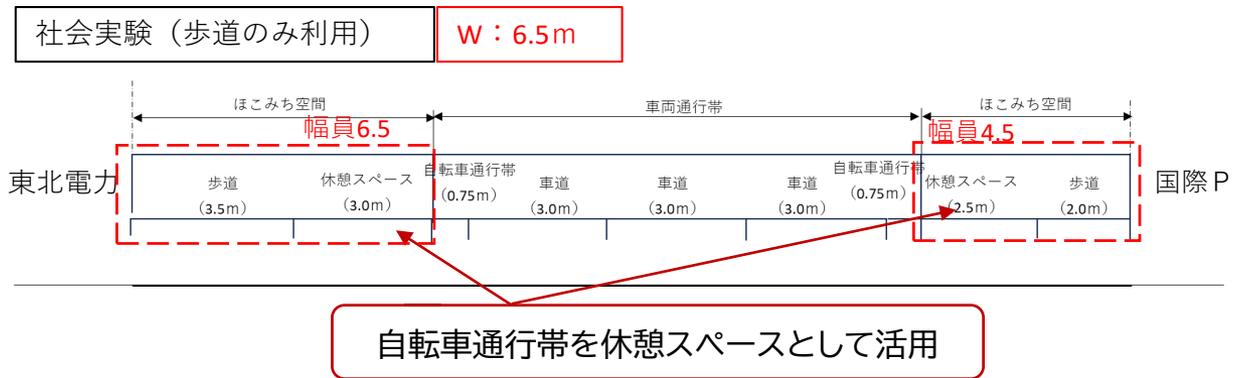
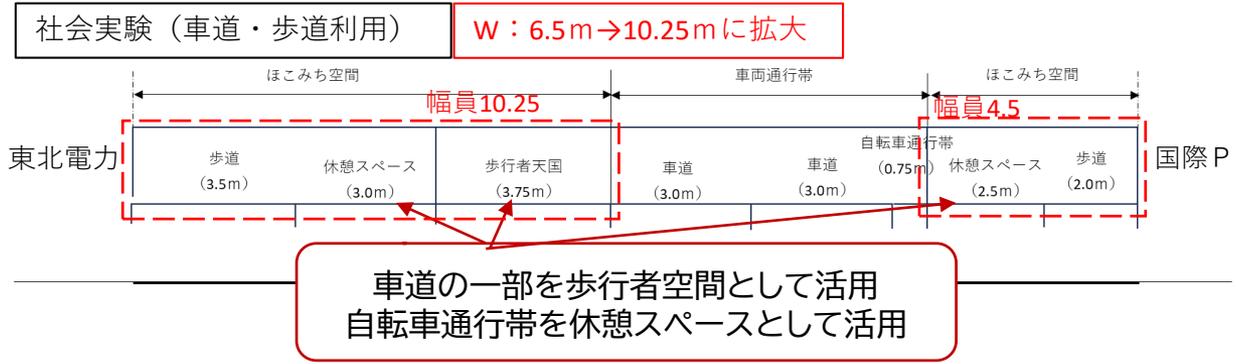
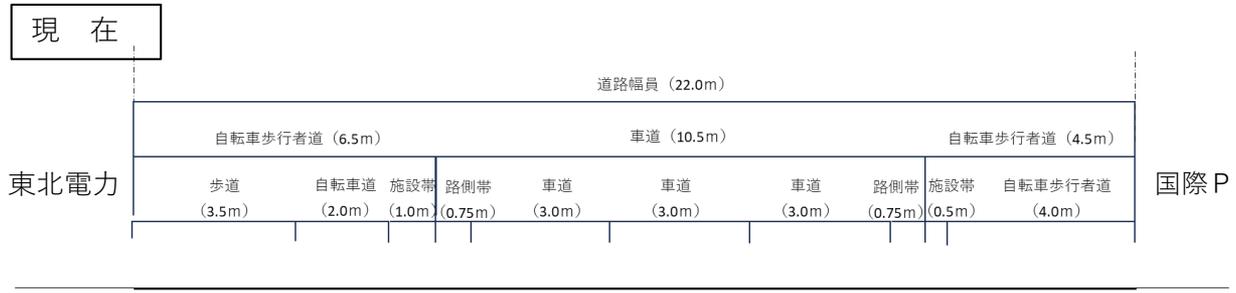
1-4 道路空間演出の考え

憩いを与える環境づくり (日常に憩いを与え、ふと立ち寄りたくなる環境づくり)

- ・ 空間づくりとして、ストリートファニチャー類の設置
- ・ シンボルツリー「梨の木」「吾妻通り」をモチーフにした統一ロゴによる目印の作成
- ・ ジャンルにとらわれない音楽 (BGM) が聴こえる通り



■道路空間の再配置により実施



■什器（ファニチャー類）の設置にあたっては、廃材活用や協賛企業の協力等により実施

廃材を活用した憩いの場



沿道の壁面の活用
(東北電力壁面への映写)



協賛企業の協力による環境空間の創出



1-5 賑わいづくりの考え

日常から非日常のグラデーション イベントづくり

(ちょっとしたイベント等で普段の生活にワクワクを加える賑わいづくり)

- ・歩道の特性や店舗との連携を活かした賑わいづくりイベント
- ・さんかくストリートにちなんだ”ブランディング“の取組み

憩いの空間を活用したイベント

(賑わいイベント例)
・アートイベント等 (日常)

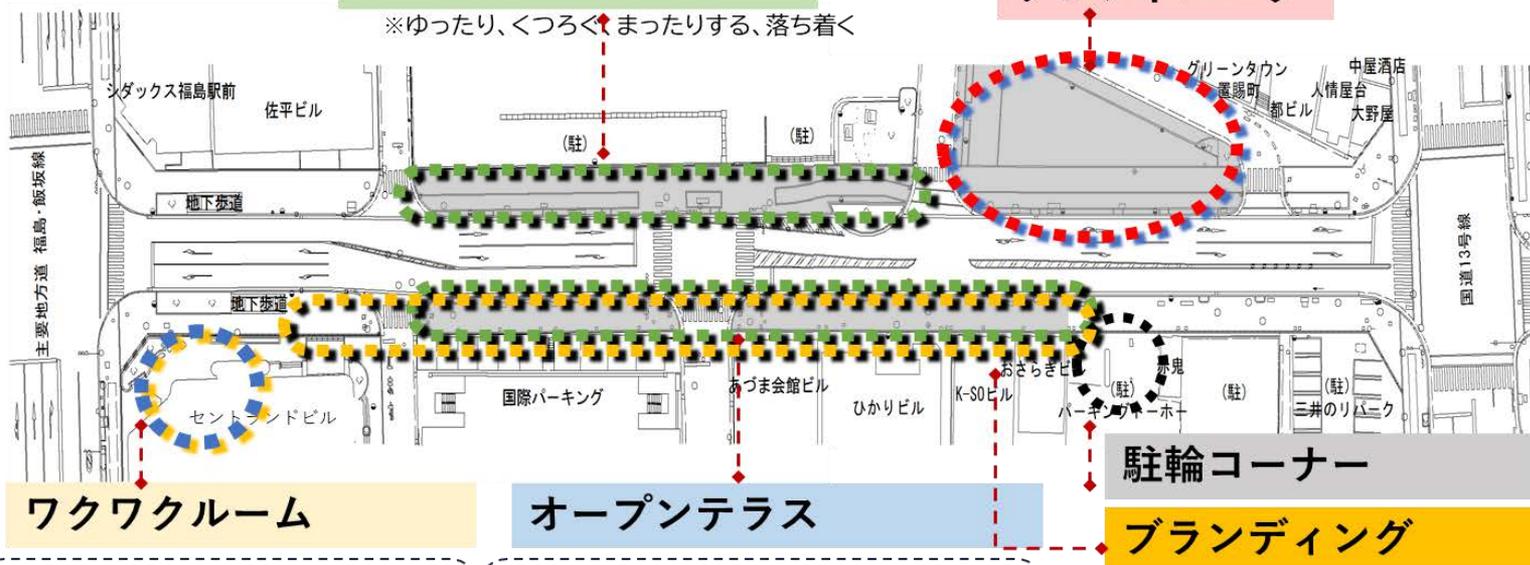
チルアウトガーデン

※ゆったり、くつろぐ、まったりする、落ち着く

ワクワクドキドキの参加型のイベント

(賑わいイベント例)
・フードイベント (日常・非日常)
・交流イベント等 (非日常)

フレンドパーク



ワクワクルーム

子供等が参加するイベントの実施
(賑わいイベント例)
・絵本読み聞かせ (非日常)
・学習イベント (日常・非日常)

オープンテラス

沿道店舗等と連携した飲食イベントの実施
(賑わいイベント例)
・フードホールイベント (日常・非日常)

駐輪コーナー

ブランディング

さんかく/梨をテーマにした商品開発
(日常)
例) おにぎり、サンドウィッチ、
ソフトクリーム、箸袋

■ワクワクするイベントなどを実施

<p>10/18  東北電力 福島県</p> <p>時間/18:00~</p> <p>オープニングセレモニー</p>  <p>社会実験実施前に、オープニングセレモニーを行います。東北電力福島県に込められた思いを込めて。</p>	<p>10/18  東北電力 福島県</p> <p>時間/18日18:30~20:00、19日17:00~22:00</p> <p>「あの壁を越らすのはあなた」 変電所壁面プロジェクション</p> <p>「あの壁を越らすのはあなた」</p> <p>東北電力の変電所壁面に福島県の人たちのたくさんの笑顔を投影！あなたも映っているかも？！</p>	<p>10/19  ワクワクルーム</p> <p>時間/19:20~20:45(15分)</p> <p>ふくしまフラッグ ガーランドプロジェクト</p> <p>子どもたちがイメージする「福島県の色」をたくさん集めてフラッグガーランドを作ります。からひらはためく三角形でストリートをおしゃれに飾り付けします。</p>	<p>10/19  東北電力 福島県</p> <p>時間/10/19~27</p> <p>ビニールハウスKIOSK「Hi there！」</p> <p>様々な内容の目替わり店舗+KIOSKがストリートに登場！</p> <p>「その他出店者もお楽しみに！」</p> <div data-bbox="994 421 1362 578"> <p>10月19日(土) 18:00~</p> <p>スキコム公開収録</p> <p>スキコム by Katsuro Collective は、福島県産野菜(かつらお)村でのアート活動の模様をお届けするメディアです。</p> </div> <div data-bbox="1371 421 1738 578"> <p>10月20日(日) 14:00~</p> <p>Balloon flower shop</p> <p>フライデースクリーンの「Balloon flower shop」アンケートに答えてバルーンの花をもらおう！</p> </div> <div data-bbox="994 585 1362 756"> <p>10月20日(日) 10:00~12:00、10月27日(土) 12:00~15:00</p> <p>ミノムシ書店</p> <p>東北のちいさな古本屋、お店を持たず、いろいろなまちを回っています。さんかくストリートには期間中、紙やイベントでもたくさん届きます。</p> </div> <div data-bbox="1371 585 1738 756"> <p>10月26日(土) 17:00~</p> <p>音楽×古着×etc...</p> <p>「ドーナツラウンジ」によるイベント、「福島市内のアパレル店」Lapelなどが出店します。</p> </div>
<p>10/19  東北電力 福島県</p> <p>時間/10:30~14:30</p> <p>信夫お結びマルシェ</p> <p>「お結び」のマルシェ</p> <p>地元の新鮮野菜、果物、はちみつ等手作り小物の販売を行います。高沼ファーム、新米葉巻店、和牛農機、キョウデンファーム、まさくみ計5店舗が出店！</p>			

10月18日
オープニングセレモニー



ふくしまフラッグ
ガーランドプロジェクト



18日・19日【チルアウトガーデン】
変電所壁面マッピング



19日【チルアウトガーデン】
信夫お結びマルシェ



18日～【チルアウトガーデン】
さんかくストリートコンセプト
ウォール



19日～27日【オープンテラス】
フードホール



デザイン：FRIDAYSCREEN

19日～27日【チルアウトガーデン】
ビニールハウスKIOSK「Hi there！」



19日～27日【フレンドパーク】
キッチンカーフェスティバル



19日～27日【フレンドパーク】
秘密基地計画



20日【ワクワクルーム】
みずほ銀行出前講座「賢く生きる
ために知っておきたいお金の話」



20日【ワクワクルーム】
チームふくしまと遊ぼう！



20日【チルアウトガーデン】
ふくしまいろどりワークショップ



21日～25日【全域】

ほこみちアンケートwithら・さんたランド



25日【フレンドパーク】

スローミュージックの夕べ



26日【チルアウトガーデン】

ドーナツラウンジ



26日【ワクワクルーム】

ほこみちおはなしランド
～絵本と夢の世界～



27日【フレンドパーク】

まちなか音楽祭



20・26・27日（土日）

【チルアウトガーデン】
ふわふわ遊具



1-6 広報活動

■市の広報活動の他、Instagram、X(旧Twitter)、Facebook等のアカウントを新設し、企画運営チームの自由裁量により情報等を発信

(福島市広報誌)



発行部数：約105,090部/月

(SNSまとめ Lit Link)



Instagram



キッチンカーなどの出店希望者との相互連絡もインスタのダイレクトメッセージで実施

X (旧Twitter)



Facebook



2. 効果検証

2. 効果検証

No.	調査目的	調査名	調査内容
1	自動車交通への影響の把握	①自動車交通量調査 及び滞留長調査	<ul style="list-style-type: none"> ・12時間の自動車交通量を調査 ・実施日（車線制限時、車線制限なし、社会実験なし） 令和6年10月20日（日）7時～19時（車線制限有り） 令和6年10月27日（日）7時～19時（車線制限無し） 令和6年11月3日（日）7時～19時（社会実験無し）
2	歩行者交通の把握	②歩行者交通量調査	<ul style="list-style-type: none"> ・既往の調査に合わせて、11時間の歩行者交通量を調査 ・実施日（イベント有、イベントなし及び社会実験なし） 令和6年10月20日（日）8時～19時（イベント有り） 令和6年10月25日（金）8時～19時（イベント無し） 令和6年11月1日（金）8時～19時（社会実験無し）
3	環境施設の利用実態の把握	③ベンチ利用実態調査	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年10月19日（土）～令和6年10月27日（日）9日間、ベンチ等にシールボードを設置して実施
	来場者の満足度等の把握	④来場者意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年10月19日（土）～令和6年10月27日（日）9日間、来場者にアンケート用紙を配布して実施
4	事業者の意識の把握	⑤沿道事業者意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント終了後にアンケートを実施
		⑥出店者満足度調査	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント終了後にアンケートを実施
		⑦協賛企業意向調査	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント終了後にアンケートを実施
5	運営者等の意識の把握	⑧企画運営チーム調査	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント終了後にアンケートを実施
		⑨フィールド魅力度調査	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント終了後にアンケートを実施
6	広報活動の把握	⑩SNS等の閲覧状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSデータ等の確認

2-1-①自動車交通量及び滞留長調査

○社会実験による自動車交通への影響

⇒交通量に大きな変化は無く、自動車の渋滞も無し



表 7時～19時までの12時間自動車交通量

図 調査位置図

調査日	道路規制の状況	自動車交通量 (台/12h)	交差点 渋滞発生の有無
10月20日 (日曜日)	・歩道活用有 ・車道規制有	1,434台	無
10月27日 (日曜日)	・歩道活用有 ・車道規制無	1,398台	無
11月3日 (日曜日) 社会実験期間外	・歩道活用無 ・車道規制無	1,358台	無

2-2-②歩行者交通量調査

(1)社会実験による歩行者交通への影響

⇒車道規制期間は、歩行者が前年度の1.4倍に増加しました。

表 8時～19時までの11時間歩行者交通量

令和6年度歩行者交通量調査		令和6年度歩行者交通量調査(社会実験期間含)			
調査日	歩行者交通量 (人/11h)	調査日	社会実験の内容	歩行者交通量 (人/11h)	10月/7月
7月5日 (金曜日)	2,797人	10月25日 (金曜日)	・歩道活用有 ・車道規制無	2,270人	0.81
		11月1日 (金曜日)	・歩道活用無 ・車道規制無	1,805人	0.65
7月14日 (日曜日)	2,358人	10月20日 (日曜日)	・歩道活用有 ・車道規制有	3,364人	1.42

表 歩行者交通量調査期間の状況

令和6年度歩行者交通量調査				令和6年度歩行者交通量調査(社会実験期間含)			
調査日	天気・気温	会場	イベント	調査日	天気・気温	会場	イベント
7月5日 (金曜日)	晴→曇 35.5°	まちなか広場	ふくしまミートフェスティバル2024 (~7日) 【のべ4,540人】	10月25日 (金曜日)	曇 23.5°		
				11月1日 (金曜日)	晴→曇 21.7°	駅前にぎわい広場	まちなかこどもの日(商店街連合会青年部)準備
7月14日 (日曜日)	曇→雨 22.0°	福島駅東口駅前広場 福島駅前通り まちなか広場	Good Day Market 歩行者天国(ふくしま情熱通り) 第8回福島市手話まつり【550人】	10月20日 (日曜日)	晴 16.9°	阿武隈急行福島駅 福島駅東口駅前広場 駅前にぎわい広場 福島駅前通り まちなか広場 音楽堂・古関裕而記念館	あぶQウォーク Good Day Market Live!スマイルふくしま2024 駅前通りふくしま蚤の市2024【5,000人】 けんぽくYOSAKOI秋マツリ音楽堂・古関裕而記念館ホームまつり with音楽とアートクラフトフェスティバル

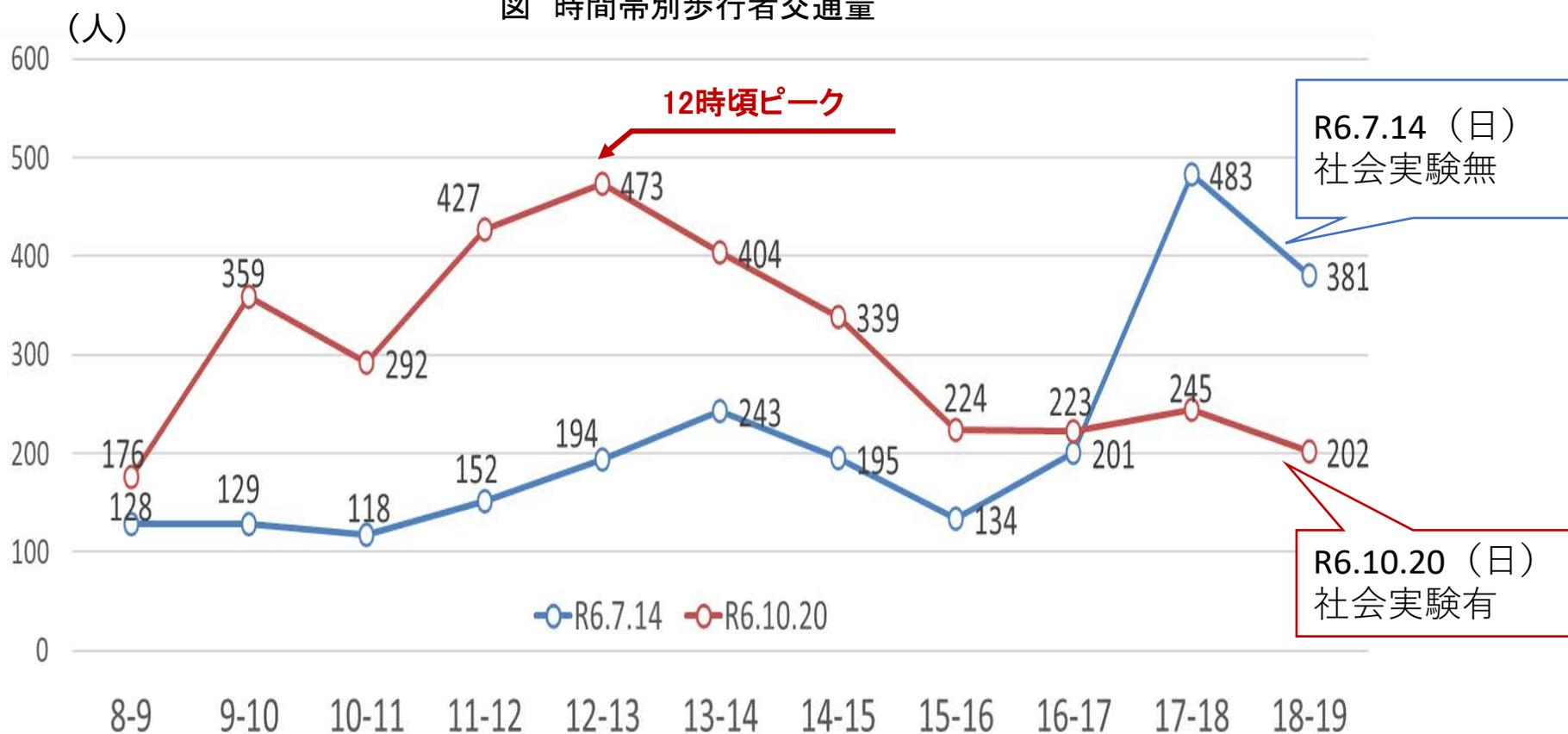
日付	イベント件数
7月14日	3件
10月20日 さんかくストリート	6件 10件

- さんかくストリート▲イベント(10/20)
- ・さんかくストリートコンセプトウォール
 - ・フレンドパーク秘密基地計画
 - ・チームふくしまと遊ぼう!
 - ・KIOSK 「Hi there!」
 - ・(キノムシ書店・おかしつかみどり・Balloon flower shop)
 - ・ふくしまいろどりワークショップ
 - ・キッチンカーフェスティバル
 - ・フードホール

(2)時間帯で歩行者の流れは変わったか

⇒午前中から来訪者が訪れ、12時頃がピークとなりました。

図 時間帯別歩行者交通量



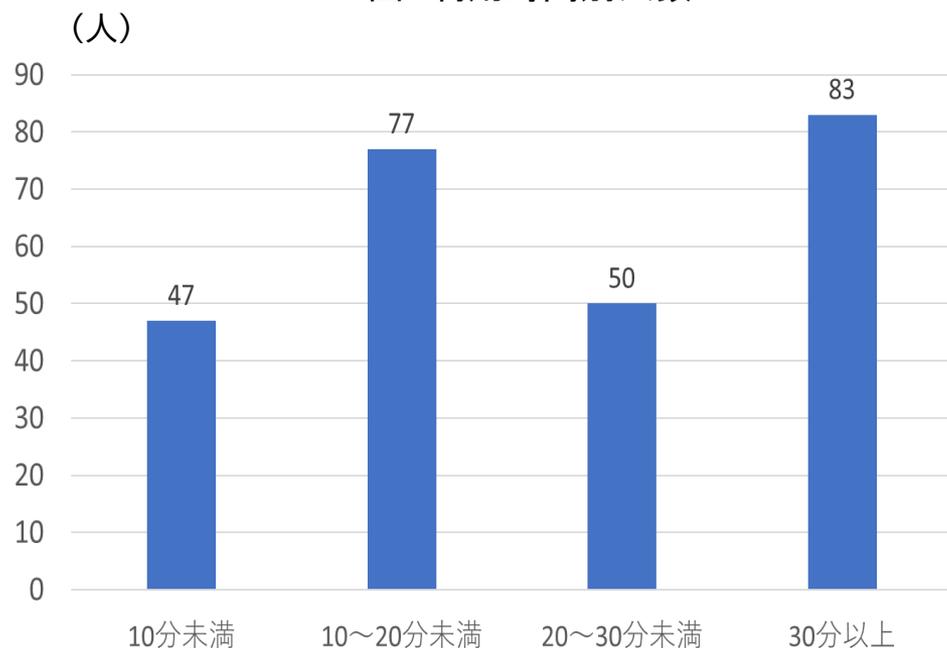
2-3-③ベンチ利用実態調査

○ベンチの利用時間

⇒利用時間は10分未満から30分以上と様々で、多様な利用のされ方が伺えます。

⇒最も利用時間が多かったのは30分以上となっています。

図 利用時間別人数



ストリートファニチャー 利用時間			
10分未満	10~20分未満	20~30分未満	30分以上
8	18	13	36



2-3-④ 来訪者アンケート

■ 社会実験期間中、ほこみちに訪れた**557人**の方に回答頂きました。

(1) どんな人が訪れたのか

- ⇒ 訪れた方は、10代が約25%と最も多く、次いで20～30代となっており、**比較的若い年代の方が多く訪れました。**
- ⇒ 職業は会社員が4割、次いで**高校生が2割**となっています。
- ⇒ 居住地は、7割が福島市内の方々となっています。

図 来訪者の年齢

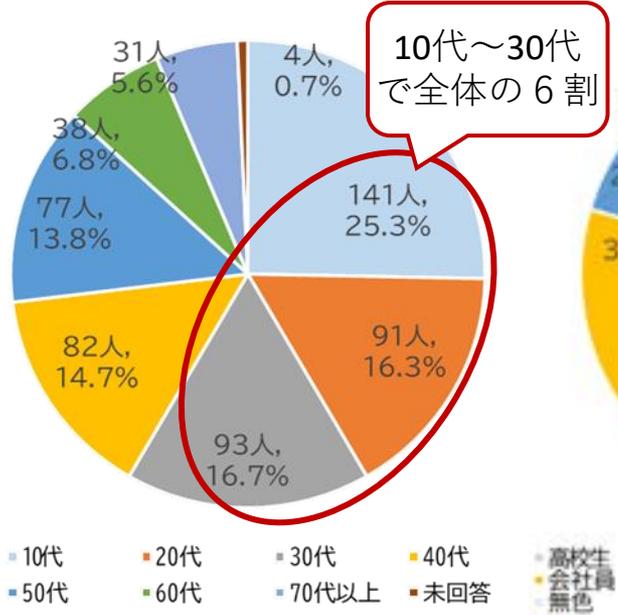


図 来訪者の職業等

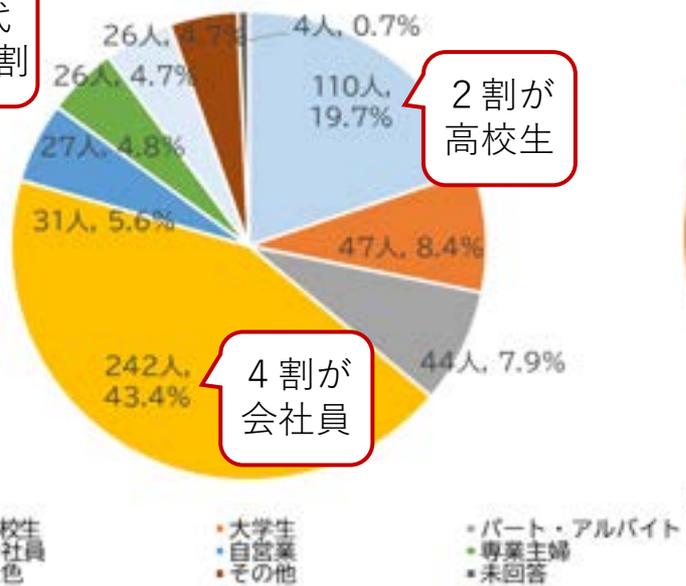


図 来訪者の居住地

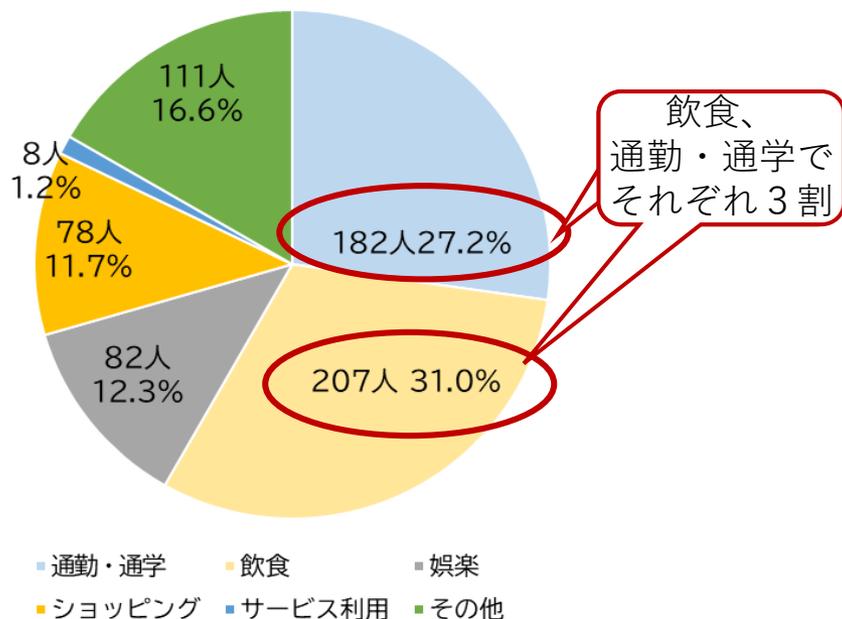


(2)訪れた方々が普段、どのように吾妻通りを利用しているか

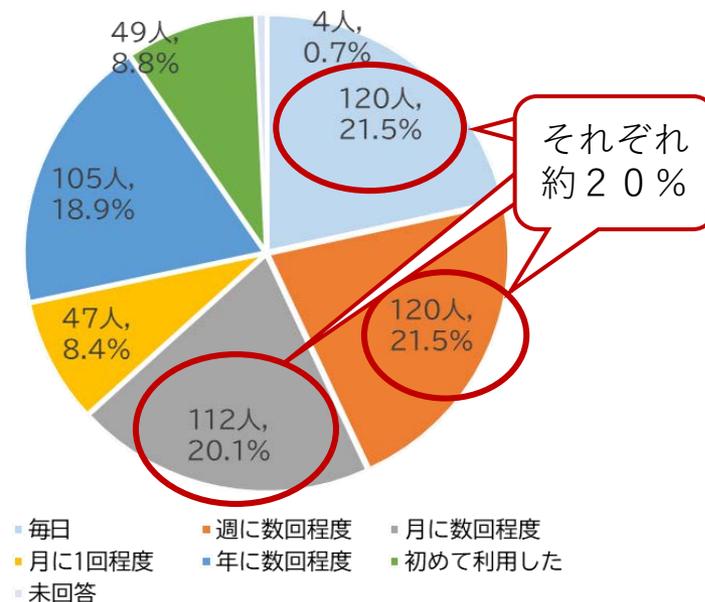
⇒吾妻通りの普段使いとしては、**飲食、通勤・通学**がそれぞれ約3割となっています。

⇒また、利用頻度としては、**毎日が約20%、週に数回、月に数回もそれぞれ約20%程度**となっています。

▼来訪者の普段の利用目的



▼来訪者の普段の利用頻度



(3) 社会実験を知った理由等

⇒ 友人・家族が約2割、SNSが2割弱となっています。

⇒ 訪れた理由は通勤通学途中とイベント目的で全体の5割です。

図 実験を知ったきっかけ

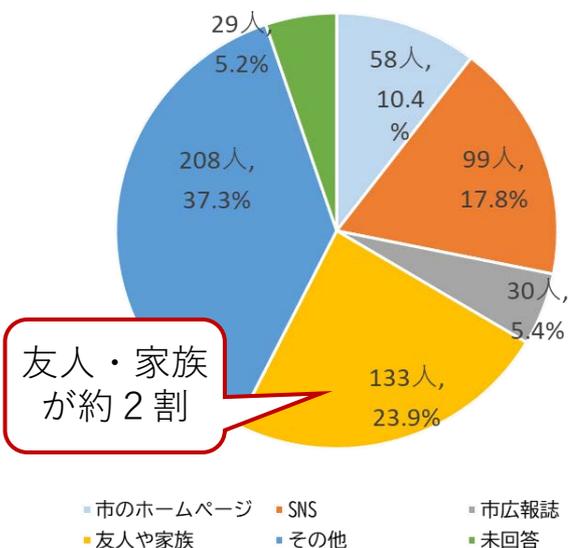


図 訪れた人数

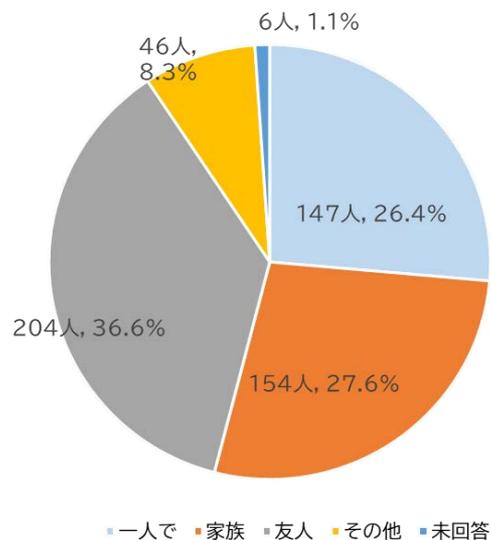
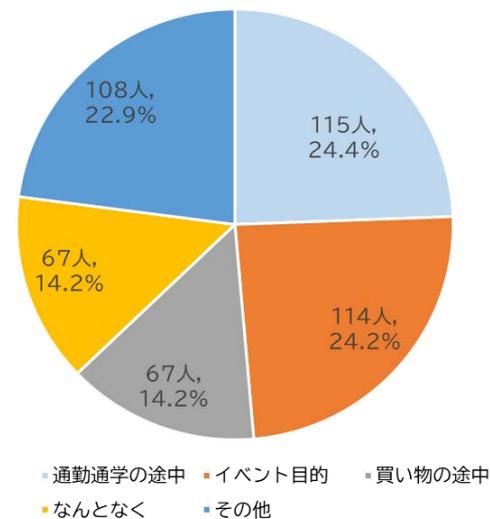


図 訪れた理由は



(4)福島駅前に休める場所があるかどうか

⇒少ないと思う意見が約5割を占めました。

(5)ベンチ等の環境施設の効果等について

⇒ベンチ等が快適とする意見は約7割

⇒ほこみちが環境等に良い影響を与えたと思う方は約8割で、ベンチ等が良い影響を与えたと思われます。

図 福島駅前に楽しんだり休んだりできる場所があるかどうか

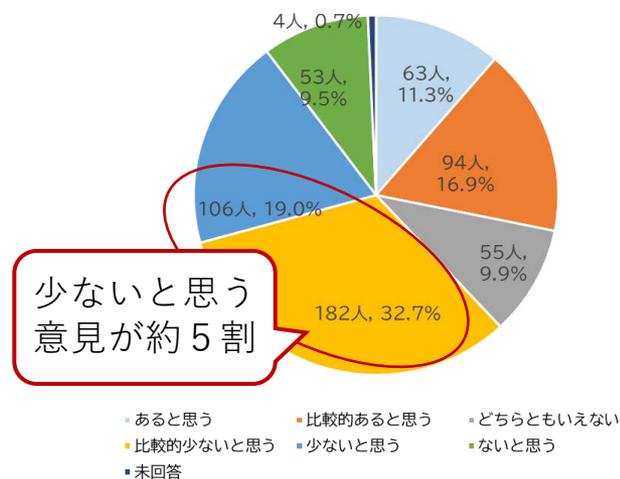


図 歩道に設置されたベンチ等の快適性

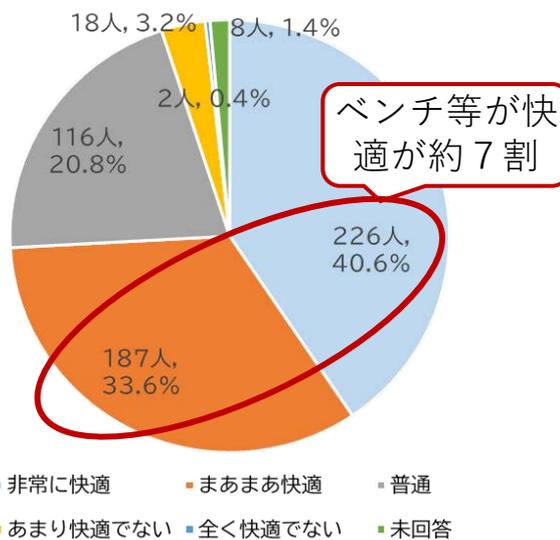


図 社会実験が周辺の景観等にどのような影響を与えたか

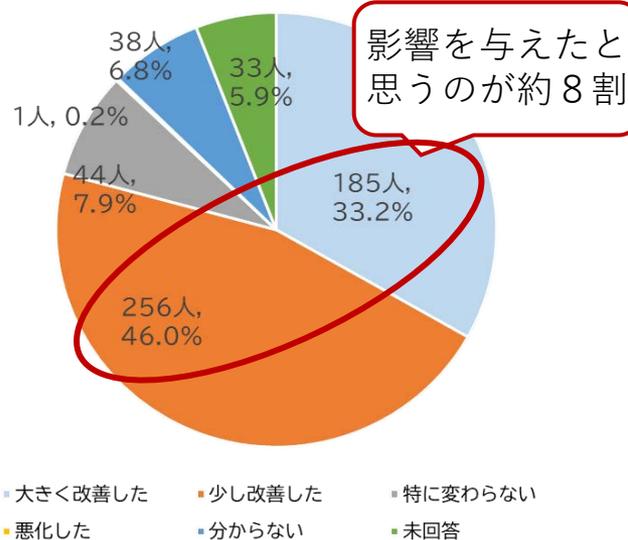


表 他にあったら良い施設

施設名	回答数
トイレ	14
ゴミ箱	11
遊び場	25
日よけ	12
広場等	12
お店	10

(6)吾妻通りへの関心の高まり

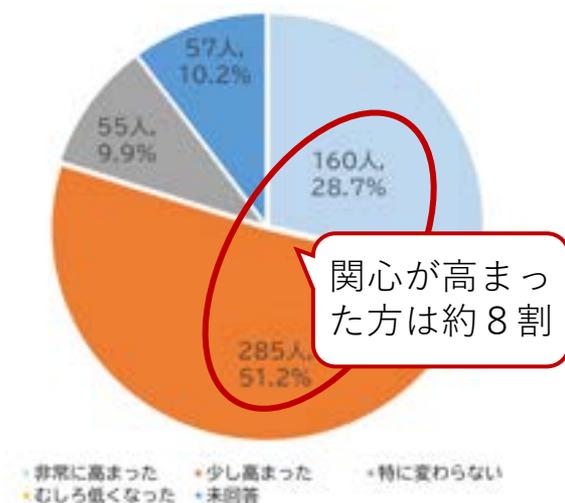
⇒社会実験により、吾妻通りへの関心が約8割の方で高まりました。

(7)社会実験の改善点について

⇒社会実験に対して、空間利用やイベント、広報、そして、自転車の通行方法やベンチの安全性など多くの視点を頂きました。

図 吾妻通りへの関心の高まり

表 改善して欲しい主なポイント



空間利用	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根があるとより快適だと思った。 ・もっと机・椅子が欲しい。 ・お手洗いがあれば滞在時間が増えそうです。 ・子供と遊べる場所が欲しい。 ・BGM、花、があると楽しそう♪ ・もう少しおしゃれに。規制のコーンや看板をおしゃれにして欲しい。
イベント・店舗関連	<ul style="list-style-type: none"> ・常時、開催されているイベントがあれば良い。出店数が足りない。 ・隣接する店の協力（日中、ほとんど営業していない）。 ・地元のお店ともっとつながりのあるといい。
宣伝・広報	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと宣伝、アピールが欲しい。 ・道の端と端に、こんなコト（ほこみち）やってますよをアピール。
道路等の利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路を通行止めしてもよいと思う。 ・自転車の通路がなくなって、自転車利用者が不便そうだった。
安全性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチとか車側に座るのが怖い。 ・安全面の強化。歩道の十分な幅確保。

(8)今後の展望について

⇒ほこみちを**継続して欲しい**という意見が約8割です。

⇒自由意見

- ・**取組みを評価する意見が約7割**となっています。
- ・その他、改善することや問題点を指摘する貴重な意見を頂きました。

図 ほこみち継続の希望

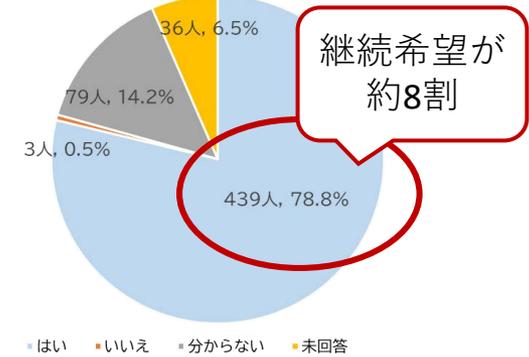
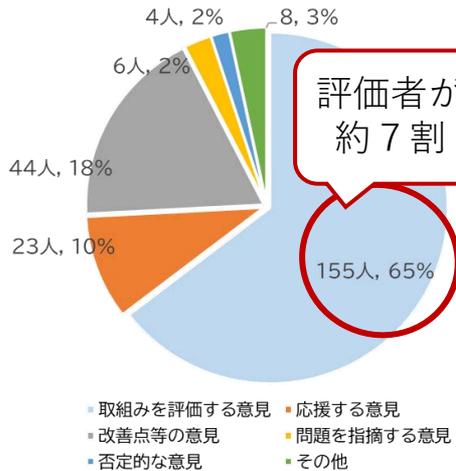


図 自由意見の分類



主な自由意見



評価、応援等の意見

- ・通りにベンチやハンモックがあるのがとても新鮮で楽しい。
- ・街なかにこういう場所はないので凄くありがたいです。
- ・普段歩く道とは違って面白い企画だと思いました。



改善、問題点等の意見

- ・継続することでもっと認知度が向上すると思います。
- ・市民へのPRをもっと早めに、広くした方が良い。
- ・月一でいいからやってみても良いと思います。
- ・歩行者と自転車通行への配慮が必要。



否定的意見

- ・車が多い所の脇なので、子どもさんいるときの安全面が不安。
- ・このイベントではかえってマイナスなイメージ。

番外編 ~ Instagram によるアンケート

さんかくストリート
いかがでしたか??



約 8 割から好評

東北電力様駐車場
空間の使い方



約 7 割から好評

セントランドビル様
空間の使い方



約 5 割から好評

2-4-⑤沿道事業者意識調査

■沿道事業者24社を対象に実施、20社から回答を頂きました。(回答率83%)

(1)沿道事業者の事業形態は
 ⇒回答頂いた20社の内、18社が飲食業、2社がその他(小売業1社、サービス業1社)でした。
 営業時間も55%が夜のみの営業で、昼間に開けている店舗は35%、7店のみでした。

▼業種

	店	割合
飲食業	18店	90%
その他	2店	10%
合計	20店	100%

▼営業時間

	店	割合
午後～夕方	1店	5%
夜のみ	11店	55%
昼～夜	7店	35%
無回答	1店	5%
合計	20	100%

(2)社会実験の効果は
 ⇒回答者の多くは変化がなかったという回答ですが、**約2～3割の店舗では効果が窺えました。**

図 来客数の変化

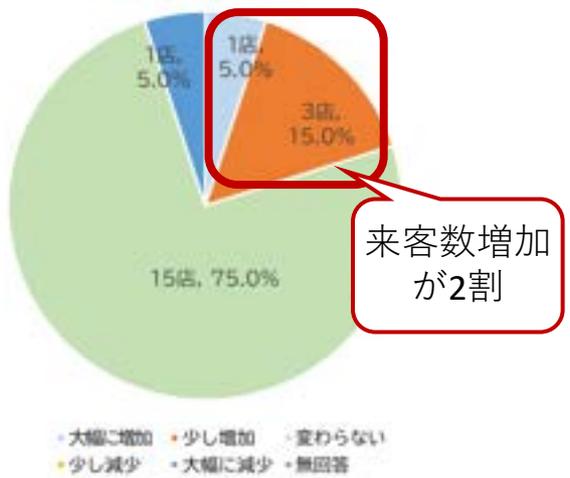


図 売上への影響

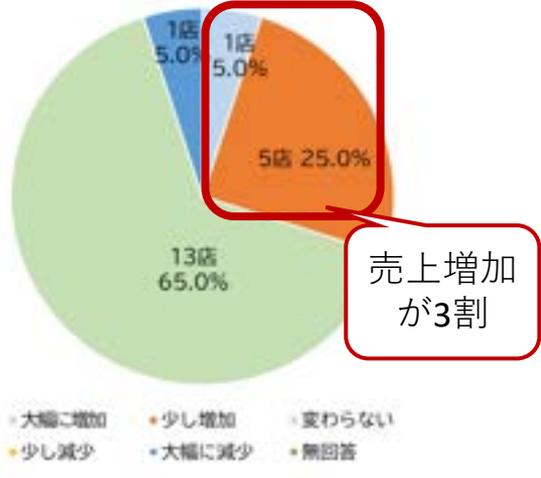
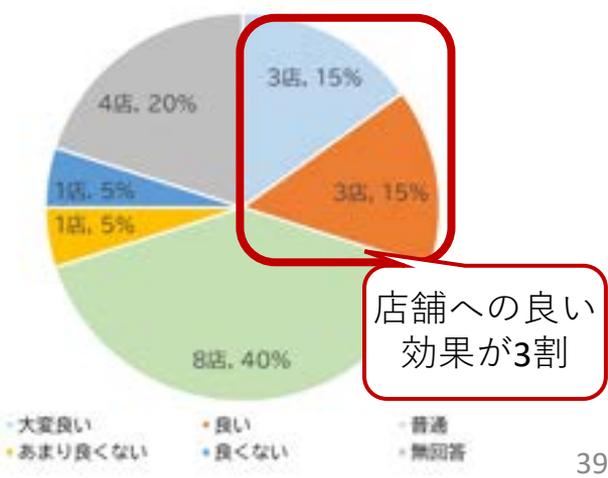


図 店舗への効果

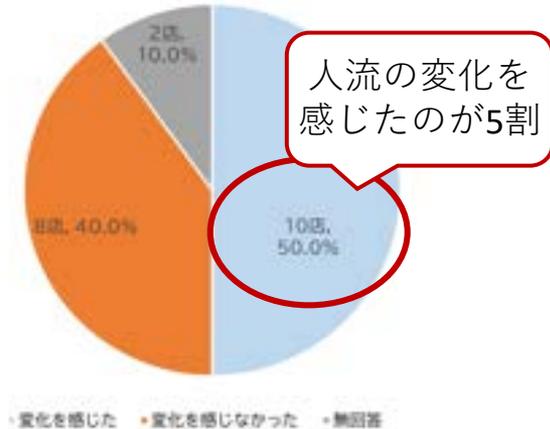


(3) 社会実験による交通への影響等

⇒平日の人流の変化を**5割の店舗**が実感、交通規制は**影響無し**の回答が**6割**です。

⇒空間の改善点では、自転車規制の安全施設の影響や照明の問題等を指摘頂きました。

図 平日の人の流れの変化



▼空間の改善点

- ・ごみ無、思ったより良かった！
- ・ゴミ増えた（空き缶、たばこ等、喫煙所にごみが増えた）。
- ・黄色黒のバーが工事中に見える！
- ・照明がなく、暗いことに気づいた。
- ・椅子の案内看板が必要。
(座っていいのか迷っている人がいた。)

図 交通規制の影響



▼営業にプラスになる イベントは？

○仕掛け

- ・音楽 ・灯り ・軽食 ・競合しないアルコール
- ・さんかく広場を活用したイベント

○時期

- ・暖かい時期 ・果物のある秋

○情報・広報

- ・ほこみちの周知 ・情報発信の徹底

○その他

- ・継続しないとダメ！ ・文化通りとの連携 など

(4)ほこみち指定の希望

⇒ほこみちの指定を**6割の事業者が希望**です。

⇒**継続に必要なこと**として**体制づくり等**への意見が多く寄せられました。

図 ほこみち指定の希望



▼継続で必要なこと

○体制関連

- ・まとまった組織
- ・横のつながり、長屋ビルとの連携
- ・ルールづくり（私物化しない、管理方法）
- ・テナント、オーナーとの話し合い

○費用面

- ・補助金
- ・イベント費用への出資

○空間面

- ・照明の確保
- ・ベンチ等の常設化
- ・夜市のような活用

▼取り組みに向けた主な自由意見

積極的な意見

- ・月1, 2位くらいの売り上げとなった。オープンテラスだけで3回転くらい。
- ・やらないよりは、やったほうがいい。もっと沿線を巻き込んで！
- ・オープンテラスに座っている人は結構いた。
- ・「当たり前」になると、使う人が出てくると思う。
- ・しれっとまずやってみて、良いことがあるとわかれば、周りから声が掛かってくる。

問題の指摘

○交通規制について

- ・通行止めだけでなく「規制」があるだけで交通量は減る。
- ・土日は車で飲みに来る人も多い、交通量減=売上減。
- ・交通規制について、配送がやりにくかった。

○情報発信等について

- ・告知が遅すぎる、周知が足りなかった。

○イベントや空間づくりについて

- ・自分の店の前で他の飲食店が出店するのは嫌。
- ・駅前通りと吾妻通りでイベントをすると人が分散する。
- ・机、椅子をもっとおしゃれに！
(倒れている時は粗大ゴミかと思った)

2-4-⑥出店者満足度調査

■出店者15社中を対象に実施、6社から回答を頂きました。(回答率40%)

(1)今回の社会実験の満足度は
⇒5社が参加して良かったと回答！ 改善点としては、宣伝の強化や事業者調整が必要

表 出店者の満足度

項目	回答数
良かった	5社
普通	1社
悪かった	0社

参加して良かった点

- ・天気も良くベンチ利用者が広場で食事しながら楽しそうにしていた。
- ・普段とは違う雰囲気で行えたのは良かったです。
- ・出店費がかからないのは嬉しいです。
- ・テーブルやベンチ等があり、ゆっくり食事をしたり、ランチタイム以外での休憩にドリンクを飲んだり、色々な形でゆっくり休憩する事が出来る。

改善した方がよい点

- ・宣伝が弱い事もあってあまり人が来たとは言えない。
- ・電源がない。
- ・出店者の調整がないので内容がモロ被り。

(2)今後の参加意向
⇒回答した6社全者が今後も参加を希望

▼次回の参加意欲と必要な設備

- 次の参加意欲 ・6社とも参加希望
(実施したい時期 春:6社 夏:2社 秋:3社 冬:1社)
- 欲しい施設 ・電源、水道



2-4-⑦協賛企業意識調査

■協賛企業10社中を対象に実施、4社から回答を頂きました。(回答率40%)

○協賛の理由と今後の参加意向

- ⇒協賛のきっかけは、街への恩返しや、活性化への思いなど。
- ⇒今後の参加意向は4社とも「事業の時期や会社の状況により検討」となった。

○今回の協賛理由

- ・福島市で長年、仕事をしており**恩返しする機会があれば**と考えていたから！
- ・駅前が少しでも**明るく活気がある街並みにもどれるように**との思いから！

○今後の参加意向

- ・4社とも「事業の時期や会社の状況により検討したい」という意見を頂きました。

○改善点等

- ・福島市には、NHK福島支局やFTV、TUFの社屋があるのでイベント情報を発信して頂けるよう協力を得ればもう少し、市民の皆様へ情報が行き渡り人出も多くなり盛況になったのでは。



2-5-⑧企画運営チーム意識調査

■参加者23名を対象に実施、6名から回答を頂きました。(回答率26%)

(1)引き続き取組みに参加したいですか

⇒回答者6名中**4名(約7割)**が参加を希望!

図 今後の参加意向

項目	回答数
参加したい	4人
分からない	2人
参加しない	0人

新たに取り組んでみたいこと

- ・こどもがもっと絵本を読みたくなるような「読み聞かせのコツ」を伝えるプチ講座やお家で余っている絵本の表紙でペーパーバッグづくりなどのワークショップもやってみたいです。
- ・東口再開発フードホールにて検討しているモバイルオーダーシステムを吾妻通りで一時的・実験的に導入してみて、沿道飲食店からの反応や指摘されている課題点の改善につなげたい。
- ・路上でDJが音楽をかけるというのがメンバーの中で好評だった。またやりたいという声があがったため。
- ・今回のバルーンフラワーとかアートプロジェクトとか、自由度のある企画であれば、また楽しんで参画できそうだなと感じた。

(2)主な改善点

①費用について

- ・交通費等があると助かる。

②実施体制

- ・企業への委託や学生のインターン等持続可能な体制が必要
- ・様々な団体等が運営として入ることも必要
- ・横の繋がり確保 ・時間をかけた準備、市民の応援を頂く体制づくり

③実施方法

- ・情報共有の改善 ・企業の実験の場としての活用 ・大々的な告知の実施

2-5-⑨フィールド魅力度調査

■「街なか賑わい創出プロジェクト」参加団体等74社に実施、7社から回答を頂きました。(回答率9%)

(1) 取組みに参加したいですか

⇒ 回答頂いた7社中4社は参加、3社も参加を検討

図 今後の参加意向

項目	回答数
参加したい	4社
検討したい	3社

ほこみち制度を推進するうえで必要な支援

- ・イベントを開催するにあたり市からの補助金があれば検討したい。
また、ほこみちでイベントがある際は事前通知で参加者を募っていただきたい。
- ・イベントを行うにあたって簡単な補助金の申請方法のサポート、広報活動の援助等。
- ・市からの広報支援等が必要。出店条件を確認後検討したい。
- ・確実に取りまとめをしてくれる中間支援組織・団体。人を誘導するための仕掛け。
- ・お客様の声と出店側からの希望として、雨の場合の常備テント・トイレの確保があった。
- ・電気設備や発電機の安価レンタルがあるとよりありがたい。

(2) 自由意見

- ・生演奏での演舞につきステージでも沿道でも自由な演舞ができます。控え室の用意があれば助かります。
- ・現状の歩道は広いので、椅子、テーブルを置いてのほこみち制度を活用するのは良いと思う。
- ・参加店舗の数にもよるが、キッチンカーは道路側、テント出店は、広場利用の方が良いかと思う。
- ・行政の行っている街なかの施策(パークアンドライド、シェアサイクル、公式LINE)との効果的な連携が必要。
- ・街なかの賑わいにおいて、素晴らしい事業ですので活用方法について検討していきたいと思います。
- ・団体としてほこみち制度の活用方法が現状見いだせておりません。

2-6-⑩SNSの閲覧状況等

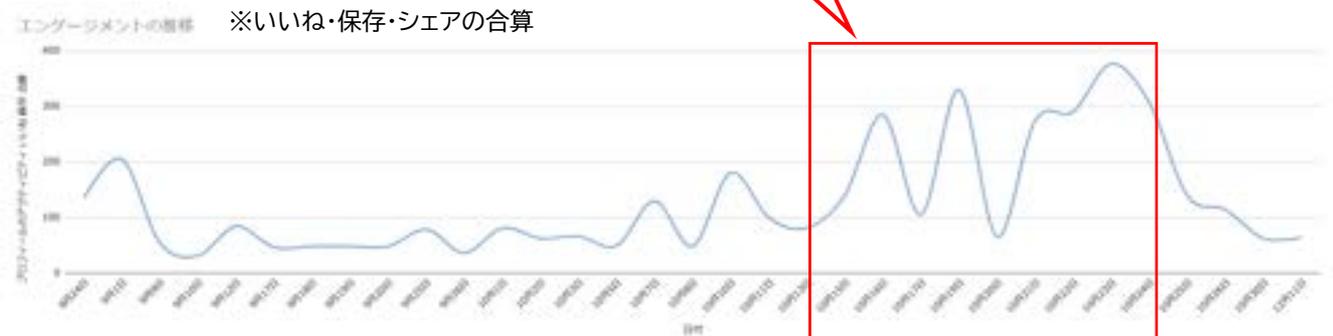
(1)フォロワーの反応(Instagram)

⇒フォロワー数はゼロから630に成長し、総閲覧数は約8万件となりました。

指標	数値
総閲覧数	79,563
リーチしたアカウント総数	47,924
いいね総数	2,653
保存総数	53
フォロワー割合	54.1%
フォロワー外の割合	45.9%
ホーム閲覧数総数	22,519
プロフィール閲覧数総数	41,656
ハッシュタグ総数	69



社会実験開催期間の4~5日前(10/15頃)からエンゲージメント率が伸び始め23日・24日の週末イベントの告知などにピークがあることがわかります



2024年8月24日~12月16日までの集計

(2)リーチ・閲覧数が多い投稿ベスト3

⇒プレゼントやイベント詳細に関連する投稿は、関心を集めやすく、シェア・拡散されている。

▲10月11日
「カレーパンプレゼント」: 2800



▲10月24日
「ほこみちおはなしランド」: 2639



▲10月10日
「さんかくストリート開催、詳細」: 2337



(3)エンゲージメント(いいね・保存・シェアの合算)が多い投稿ベスト3

⇒具体的な取り組みや出店情報、感謝の投稿がエンゲージメントを得やすい

▲ 10月23日
「コラボメニューわたなべ鮮魚店」: 161



▲ 10月22日
「出店情報5店舗」: 127



▲ 10月21日
「ご来場ありがとう1」: 118



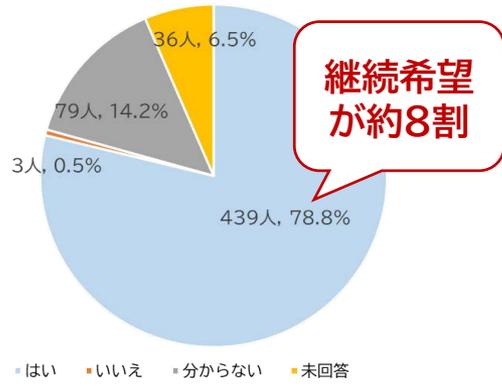
3. まとめ

3-1 社会実験の効果

■効果

⇒約8割の来訪者がほこみちの継続を希望、沿道事業者の6割からも継続を希望

図 来訪者のほこみち継続の希望



※来訪者からの自由意見では、一部否定的な意見がありますが、多くの方から高評価を頂き、継続して欲しいとの意見を頂きました。

評価、応援等の意見

- ・道路空間にベンチやハンモックがあるのがとても新鮮で楽しい。
- ・街なかにこういう場所はないので凄くありがたいです。
- ・普段歩く道とは違って面白い企画だと思いました。

改善、問題点等の意見

- ・継続することでもっと認知度が向上すると思います。
- ・市民へのPRをもっと早めに、広くした方が良い。
- ・月一でいいからやってみても良いと思います。
- ・歩行者と自転車通行への配慮が必要

図 沿道事業者のほこみち指定の希望



※事業内容の説明不足等から、事業への課題も窺えましたが、比較的多くの事業者から、まずやってみようという意見がありました。

積極的な意見

- ・やらないよりは、やったほうがいい。もっと沿線を巻き込んで！
- ・「当たり前」になると、使う人が出てくると思う。
- ・まずやってみて、良いことがわかれば、周りから声が掛かってくる。

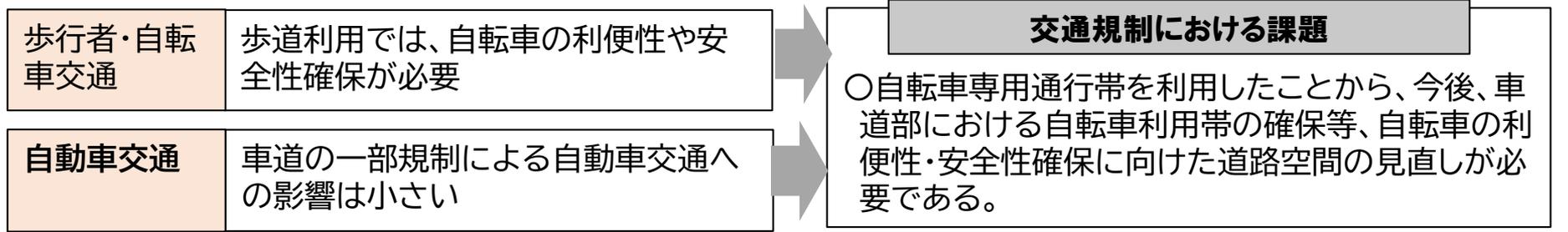
問題点の指摘

交通規制	<ul style="list-style-type: none"> ・通行止めだけでなく「規制」があるだけで交通量は減る。 ・交通規制について、配送がやりにくかった。
情報発信(広報)	<ul style="list-style-type: none"> ・告知が遅すぎる、周知が足りなかった
イベント等	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の店の前で他の飲食店が出店するのは嫌。 ・駅前通りと吾妻通りでイベントをすると人が分散する

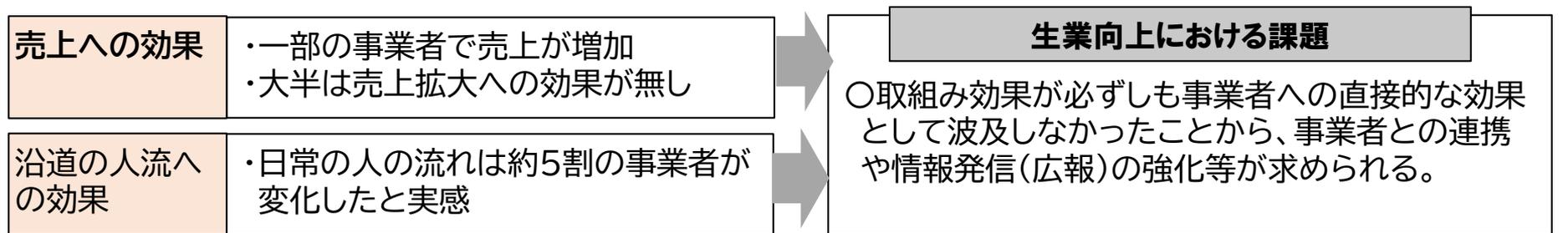
3-2社会実験の課題

- 3つの視点からの課題
 - ⇒交通規制： 歩行者・自転車と自動車交通の利便性や安全性の改善が必要
 - ⇒生業向上： 沿道事業者との連携と波及効果の拡大
 - ⇒運営強化： 継続的な取り組みに向けた持続可能な体制づくり

①交通規制： 歩行者・自転車と自動車交通の利便性や安全性の改善が必要



②生業向上：沿道事業者との連携と波及効果の拡大



③運営強化： 継続的な取り組みに向けた持続可能な体制づくり

[現状]

吾妻通りの会

- ・設立して4年
- ・建物オーナーが中心

沿道商業者の意見

- 沿道商業者の特性
- ・飲食店が中心(夜のみ営業が多い)
- 取り組みに向けた意向
- ・まとまった組織が必要 ・横のつながりが重要
- ・ルールづくり ・他の通りとの連携も必要

[団体等意見]

企画運営チーム

- ・持続可能な体制づくり ・様々な団体等の参加
- ・横の繋がり確保 ・時間をかけた準備
- ・ディレクターや広報の予算確保(期間限定)

街なか賑わい創出プロジェクト

- 関心度
- ・回答頂いた団体が74社中7社と低い
- 組織体制等
- ・中間支援組織の参加
- ・広報活動等の支援 ・他の取組みとの連携

運営強化における課題

○サポート体制の構築

吾妻通りの会は設立期間が短く、また参加者が限られていることから、取り組み主体として、組織力が不足している状況である。
今後、参加者の拡大、サポート体制等の強化が必要不可欠である。

○ディレクターが必要性

関係者の連携を支援したり、事業の方向付けを取りまとめるような「道筋」をつける役割を担う専門性が強い人材の確保が求められる。

○受け皿となる組織が必要

吾妻通り会の賛助会や雑居ビル座談会などのような準備会の取り組みを後押しする受け皿の組織が求められる。

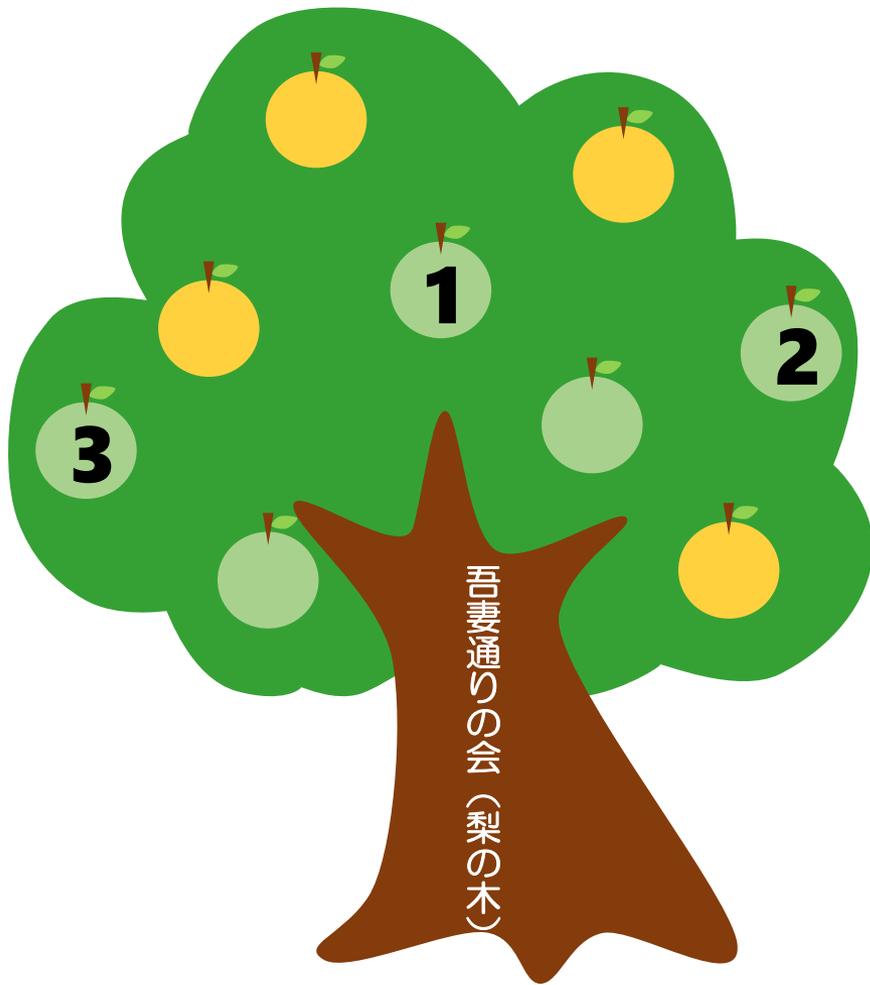
○企業や応援団の巻き込み

企業や応援団と継続的に連携することで、SMALLスタートの実現。

3-3 継続的な取り組みに向けた進め方

方針1: 社会実験から得られた課題の解決

⇒ 3つの課題解決に向けて自ら行動を起こし、1つ1つ解決することができるように「さんかくストリート▲▲▲会」と市が連携して取り組む。



1 交通規制における課題(道路空間の見直し)
・車道部の自転車通行帯の確保
・自転車の利便性/安全性の確保

2 生業向上における課題
・事業者間の連携
・情報発信(広報)の強化

3 運営強化における課題
● 参画者の拡大、サポート体制の強化
・参画したい方の後押しする受け皿
・企業や応援団と連携する
● ディレクター人材の育成や発掘

社会実験から見た課題の実

方針2:機運が高まったこの好機を逃すことなく、まず、できるところから実施する“SMALL社会実験”。

⇒継続性を重視し、すぐにできる取り組み等から始め、段階的に取り組みを拡大していく。

- ・直ぐにできる取り組みの実施。(例)音楽や花植え等の環境改善、広報活動の拡大等
- ・関係団体と連携した民間による小さな社会実験の実施。

さんかくストリートの

機運の醸成

▲ほこみち社会実験

▲道路空間の活用

- ・憩いを与える環境づくり
- ・日常から非日常の
グラデーションイベントづくり

- △交通規制における課題
- △生業向上における課題
- △運営強化における課題

△○○○○
△○○○○
△○○○○

△○○○○
△○○○○
△○○○○



“SMALL社会実験”

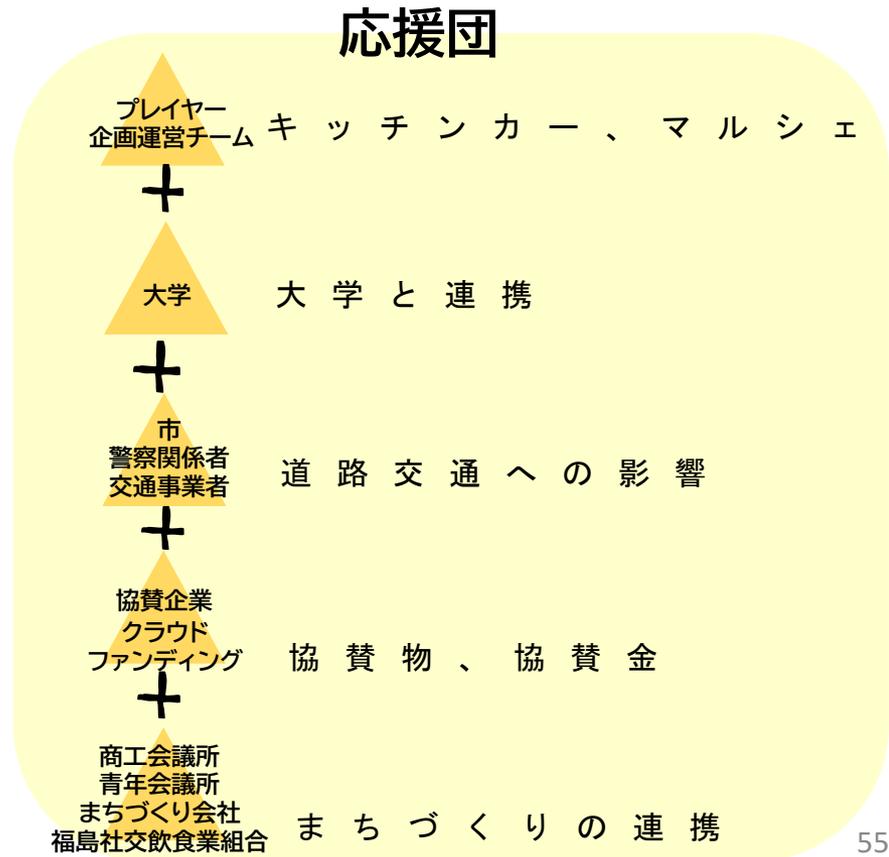
- ・大学等と連携した取り組みのチャレンジ
- ・環境施設等のデザイン改善
- ・小規模なイベント等の実施

年次を追うごとに
仲間が増える！

3-4体制づくり

■体制の考え方

- ⇒ 自立・自走に向けて、沿道事業者等の参加・連携、さらに応援団等の支援拡大を図ることが必要。
- ・ 吾妻通りの会に新規の賛助会員を募り、ディレクターによるつながりを持った沿道事業者との連携。
 - ・ 大学等の関係団体と連携した取り組みの企画・運営の実施
 - ・ 事業推進のサポート強化に向け、様々な関係者による応援団の拡大



3-5全体スキーム(案)

■今後の進め方

来訪者、沿道事業者のアンケートや企画運営チームの意見等から、今後の進め方における重要なポイントとして体制づくりと、できるところから行う取り組みがまとめられました。

スキーム方針

- ①継続的な取り組みに向けた体制づくり
- ②**まず、できるところから実施**する、“SMALL社会実験”の繰り返しによる取り組みの浸透と拡大

①
体制
づくり

②
できるところから
実施

